

第 4 6 号

中 六 福 祉 だ よ り

令和2年2月1日

中六人部地区福祉推進協議会

はじめに

輝かしい令和2年の新春を中六人部地区の皆様方、ご家族お揃いで
お迎えになられたこと存じます。心よりお喜び申し上げます。

年号も変わり新たな年を新たな気持ちで迎えて、今一度立ち止まり 360 度凝視して

【見る、観る、診る、視る、看る、と人の繋がり、風景や風習が】

尺度を変えれば鮮明に映えてきませんか

地域の良さ、地域の思いやり、人と人の繋がり、感謝すること。皆さんが一つの輪になり思いやりと助け合いの互助の心を養い楽しく暮らしましょう

下のスナップ写真は無邪気で元気いっぱいの中六(コスモス保育園)の園児です。中六の澄みきった空気をいっぱい味わって、大きく立派に育ち日々成長する園児たちの姿を見守ってください。



新 春 の 挨拶

中六人部地区福祉推進協議会
会 長 大 槻 良 博

皆様方におかれましては、新春を穏やかにお迎えになられましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年中は、当中六人部地区社会福祉推進協議会の運営各般に亘り格別のご支援ご協力を賜ってまいりましたことに心から厚く御礼申し上げます。

さて、少子高齢化の中にあって一昨年の中六小学校の閉校をはじめ、当地域を取り巻きます環境も大きな変化を余儀なくされ『地域力＝自助力』の低下に伴い共に支えあう福祉力のあり様も問われるところです。このような中にあって、今自治協議会において自らが自主的に地域の活性化に向けて、地域を挙げて横断的に取り組む組織(仮称『中六人部地域づくり協議会』)の設立に向けた準備や論議がなされているところです。

ついては、この論議の中で地域の福祉活動についてもしっかりと位置づけを頂きますよう切にお願ひしてまいりたく存じます。

その端緒として、『地域づくり協議会』の中に恒常的な事務局体制の構築も計画されていることから、地域の皆様が普段に交流できる場(交流サロン等)の開設等も地域づくりの一つとして一考いただければと存じます。

当中六福祉推進協議会も微力ながら一端を担ってまいりたく存じておりますので、ご支援の程宜しくお願ひします。

後になりましたが、昨年11月30日をもちまして民生児童委員の一斉改選で任期満了にて、ご退任されました。

お勤め頂きました前任の委員の皆様のご苦勞に心から感謝とお礼を申し上げます。

また令和元年12月1日付で委嘱を、お受けになられ新しく就任頂きました民生児童委員の皆様には、中六福祉推進協議会の運営を始め当地域の福祉活動の中心的柱として格別のお世話をお願ひ致します。

結びにあたり、中六人部地域の益々の発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心から御祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

中六人部の皆様へ

新春の挨拶

福知山市市議会議員
大槻泰徳 (やすのり)

皆様方におかれましては、新春を穏やかにお迎えになられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年春には、格別のご支援、ご厚情を賜り市政へ導いていただきましたこと私の人生で最高の感動を授かり一生忘れません。心より御礼申し上げるとともに偏に感謝いたしております。そのうえ平素より市議会活動に対して、暖かいご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、新年号『令和』の発表に日本中が新時代の訪れを感じ、8月には全英女

子オープン(ゴルフ)で二十歳の渋谷さんが優勝し、『スマイル、シンデレラ』は日本中を沸かせてくれました。9月にはラグビーW杯開幕が日本で行われ『ONE TEAM』を合言葉にホーム開催の重圧と闘った日本代表31人の選手の魂と命を懸けた肉弾戦は、我々の心を大きく揺さぶり感動を与えてくれました。そして10月には旭化成の吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞するなど日本人が世界で活躍する姿に多くの国民が、地域に『元気、勇気を貰い』福祉に生きていくパワーを授かったと思える一年でした。

さて現在福知山市が取り組んでいる課題は、防災対策をはじめ、行政改革、地域コミュニティの活性化、鳥獣害対策など多岐にわたります。特に人口減少、将来を超高齢化社会に対応し、将来を見据えた地方創生に取り組んでいる最中であり、まさに今まちづくりの在り方そのものが大きく問われております。

中六人部地域におきましても社会的に弱い立場にある方への支援、介護福祉の課題は、ますます複雑化し大きな至難ですが、一つ一つみなさんの声を聞き要望に沿えるように、まだまだスタートした新米の身にて、道半ばですが精一杯市政へアタックします。何もわからない強みを活かしてがんばります。

市議会にて諸問題をしっかりと見つめ、議決機関としてその役割と責任の重さを自覚し豊かで住みよいまちづくりに向けて鋭意取り組んでまいり所存でありますので、今後ともどうか、変わらぬご指導、ご支援、ご鞭撻を、節に賜りまよう偏にお願い申し上げます。

結びに、2020年が皆様にとりまして、幸多く実り豊かな1年となりますように祈念申しあげて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

中六人部のみなさまへ

令和2年の新年を迎えて

めざす目標 『地域と共にある公民館』

六人部地域公民館 (コミセン)

館長 浅居久一

平素は、公民館活動に関する深いご理解と六人部地域公民館に対する献身的なご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、六人部地域公民館は、地域と共に熱意と情熱を持って『打てば響く公民館』の確立を基本方針に『六人部はひとつ』の理念のもと『何時でも』『どこでも』『だれでも』が学べる生涯学習の拠点となるべく事業を行っています。その際、公民館職員は、施設の単なる管理人ではなく公民館事業のプロデューサーとしての役割及び『地域の要』ということを自覚し、実施する『実施した』事業を色々な媒体を利用した情報の発信に努めなければいけないと感じております。

今年は、公民館職員の一部異動等ありますが公民館職員一丸となり、『昨年より今年』『今年よりは来年』とすべての事業ができるよう地域の皆様とのつながりを強くし『打てば響く』公民館の確立をめざして、さらなる活動を行っていきたく思います。

昨年 11 月 21 日に中六常磐会の日帰り研修旅行に参加させていただき、心に強くのこる旅行でしたので紹介させていただきます。行先は日本の紅葉名所百選で有名な湖東三山の一つ西明寺、ゆったりとした大型バスで西明寺に到着し 150 段の石段をゆっくり登り、歴史の重みを感じさせる国宝の本堂と三重塔へお参りしました。その途中、庭園の紅葉したモミジと緑成す、そのコントラストは絶景で口では表現できないものでした。

一緒にいた参加させていただいた家内とも、家に帰りましてから良い旅行で『命の洗濯をさせてもらった』と喜んでおります。

話は変わりますが、私ごと、76 歳になり後期高齢者の仲間入りをしました。あまり年齢を気にするたちでは有りませんが、75 歳の誕生日に新しい保険証がおくられてきて、『貴方は後期高齢者になられましたので、後期高齢者医療制度の対象になります』この後期高齢者という言葉の響きから、自分も随分年齢を重ねたものをつくづく感心した次第です。過去を振り返ってみますと、60 歳、68 の時に大きな病気を患い、少し後遺症は残ったものの生活には不便もなく、お陰様で現在は元気に暮らさせてもらっております。

併し(しかし)ながら、常に思うことは、生身の体は、いつ寝たきりになるとも限りません。そのために心掛けていることは適度の運動を継続することです。現在ウォーキングとグランドゴルフです。ウォーキングについては 40 歳代から始め現在も続けております。グランドゴルフはいつでも、どこでも、誰でも、できる生涯スポーツとして全国的に広く普及しており、当区でも昨年 4 月から同好会が発足し 63 名の会員様が入会されております。私も体と頭脳そして仲間作りのために入会しました。

今後もウォーキングとグランドゴルフを継続して『健康づくりの基本とし』笑いの多い老後をごじていけたらと願っております。

『令和になつて』

中六人部も時代とともに変化の時代を迎えています。風景も変わりました。しかし、人の心は変わらずにいてほしいと思います。

映画『a l w a y s 3 丁目の夕日』に出てくる人情や人間関係を、現在の人には化石のように思っているかも知れません。しかし、時代を超えて残していきたいものです。他人でありながら、縁あって集まり、互いを認め合い、争いながら家族のようになっていく街。心の奥底に手を伸ばし手を結び繋がっていく姿。生きていると苦しいことや我慢することが多々ありますが、苦しむ自分を救ってくれるのは人の心です。睦み合い安心を享受する人と人になることです。

自分とは何なのかと悩むのではなく自分がどのようにしたいのかを知ることです。舟で川を渡るとき、物として私・川・船がありますが渡れません。わたしが『漕ぐ』と言う行為を起こさなければ渡れません。この行為が変化なのではないでしょうか。

年号が変わり 9 ヶ月が経とうとしています。日本の文化の伝承はとても大切です。ただ変わるだけでなく、時をコツコツと築いてきた文化は、おおくの日本人の営みに様々な影響を与え、現在の自分があると思います。

硬直化した今を変えるのは大切であるとともに、守って行くことも大切です。ボランティアに頑

張る人の多い中六人部。声掛け合い、遠慮しながら人の事を心配せずにはいられない人々。素晴らしい中六人部を信じて、頼まれることを喜び、頼むことを躊躇せず、人と土地に感謝する心を永く未来に伝えていきたいと思う令和2年です。

ご挨拶

大内山田区 1 男性

私ども家族が、ここ中六人部にお世話になって、早くも20年あまりの歳月が過ぎ去ろうとしています。

私達が永住の地として選んだのは、中六人部でも一番山奥とも言える集落、大内山田でした。私の家族にとって中六人部はまんざらご縁がない土地でもありませんでした。実は父方の祖父が中六小（?5代目）校長としてお世話になっていたのです。そんなご縁を感じながら引っ越してきた中六人部は、正に、緑と人情とそして平和でのどかな農村集落でした。

そこで私たちは、近所の先輩がたから農業の手ほどきを受け、そば打ちを教わり、収穫の喜びを味合わせていただきながら、日々の生活の中で感謝こそすることがあっても、身近な集落内活動以外積極的に参加することはありませんでした。

そうする中、春の役員改選時に区の選考委員さんの訪問を受け、自治会長にと推薦され丁重にお断りをさせていただいたのですが、20年間の恩返しを含めお引き受け致しました。

しかしそれは私の想像以上に、私の考えの甘さを教えてくれる結果となったのです

『大内山田自治会長は、大内山田の事だけ』と言うのでなかったのです。『顔は見覚えがあるけど名前がわからない』『名前は聞き覚えがあるけど顔が?』という正に暗中模索の毎日。

そして無知の延長で『中六福祉ふれあいひろば』担当まで引き受けてしまいました。その事実を知った翌日高校の先輩より電話がありました『どんな役かわかって受けたんか?』『先輩わからず受けてしまいました。』『そうやろなあ。前任の人によく聞いて、しっかり、やっていけよ』とのありがたい声援。福祉ひろばも前任者のアドバイス、自治協のベテランのご指導を得て、民生児童委員の皆様、ボランティアの皆さんのご協力を糧として頑張ります。どうか中六人部の皆さん、ご指導の程宜しく願いたします

感謝の心

大内山田区 1 老女

中六小学校も統合廃校となり、高齢化が進む中六人部の中でも、私が住む大内山田はその傾きが著しく日毎に空き家が増え続ける現状です

そうした中、私の楽しみの1つが月1度の開催していただける『福祉ふれあい広場』への参加することでまた会える?唄は本当にいいね。月に一度、お出合いする懐かしい顔、友達の笑顔、みなさんも、もっと来て聞いて、観てはと思う

『ふれあい広場』は、私にとっては、1ヶ月がとても待ち遠しい楽しみとなっています。

役員の皆様、ボランティアの皆様、民生児童委員様、これからも世話をかけますが宜しく願いたします。 改めまして、本当に御苦労さまです。

旧中六人部民生児童委員の皆様にはご苦勞を頂きましたが令和元年11月30日付けにて任期満了によりご退任されました。各委員さんの退任のご挨拶を頂きましたのでご披露させていただきます。

退任にあたり

笹場区 北山哲史

後正寺区の洞楽寺住職、星野光實さんから引継ぎました六人部地域の主任児童委員と、中司幸美さんから引き継ぎました中六の地区部長の仕事を退任させていただきます。

引継ぎましてすぐに、中六人部小学校の閉校が決定し1年かかっていた閉校に係る仕事が始まりました。特に閉校記念冊子の編集に関しては、学校や地域の皆様にお世話になり『かしの木』が完成し、最後の卒業証書授与式や閉校記念式典で校歌を歌うときに涙が出そうになったことと、中六人部の大きな歴史の転換点に来たなど感じたことを思い出します。

小学校も六人部小学校となり、子どもたちもバス通学で元気に頑張ってくれています。時代の大きな変化や社会生活の変化の渦に、飲み込まれないように成長してほしいと願うばかりです。

地域の皆様のご指導・ご協力により仕事が出来ました事に感謝申し上げます。ありがとうございました。

3年間を振り返って

下地区 中澤定史

民生児童委員の委嘱を受けて1期3年の任期をお陰様で無事終えることができました。当初は余裕もなく何とか一人暮らし高齢者のお宅を訪問する等の活動をこなすだけでした。

また福知山市民生児童委員連盟広報委員会に所属し、月1回広報誌の編集会議もあり、負担に感じた事もありましたが、少しずつ余裕もでき地域をまわる中で訪問先の相手様と、話が弾むこともありました。

任務の1年未満のころに、中六の社会福祉推進協議会の事務局長の大役も廻ってきて忙しい思いもしましたが、皆様のご協力をいただき、何とか滞りなく諸行事を終えることが出来ました。

中六福祉推進協議会の皆様、地域の皆のご協力、ご指導に感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

民生児童委員の退任にあたり

島田区 尾松秋夫

平成28年12月に委嘱を受けてから3年が過ぎました。民生委員活動については何の知識もなく、見聞きすることすべてが初めてのことばかりでした。

しかし、六人部民児協には6期18年のベテラン委員をはじめ経験豊かな大勢の先輩方にご指導を賜りながら今日を迎えました。

3年間の間に福知山地方も台風や大雨警報発令による避難所開設が度々ありましたが利用に迫られる被害を受けた方が無かったには幸いでした。これからの非常事態発生時に気にかかるお宅訪問をして様子伺いを致しました。驚いたことにいずれの際にも近隣の方々が先に、様子伺いをして

下さっていたことです。

限られた人数で行きとどく確認をすることには限度があります。こうして常日頃から声かけあえる隣・近所の関係を作っておくことが大事な事と痛切に感じました。その節は色々とお世話になった近所の皆様に感謝するとともに御礼申し上げます。

出 会 い と 感 謝

田野山田区 北山スミエ

今から6年前(平成25年)、自治会長様から、民生児童委員就任依頼を受けましたが、大役であり私自身が高齢であったので悩みましたが地域のために少しでもお役に立てたらとの思いから、お引き受けさせて頂きました。毎月1回、一人暮らしの高齢者宅を訪問しておりましたが、元気に畑仕事をされていたり、テレビを見てくつろいでおられたりする姿を見ると、ホッとして私も嬉しくなりました。

中六ふれあい広場では、ご出席の方々とも親しくお話をする機会もありました。

更に毎月の挨拶運動では、小学校の校門前で、児童達の元気な姿に接する事が出来、また小中学校の事業参観では子ども時代を懐かしく思い出すことも多々ありました。

この6年間は、自分は勿論のこと・家族の健康を考え、さらに地域の方々に迷惑をかけないようにと過ごしてまいりました。

委員の方、自治会長様他、皆方のご指導と御協力により、大役を無事終えることが出来ました事を心からお礼申し上げます。

民生委員、児童委員退任にあたり

後正寺区 堀 敦子

急を要する選任で不安を抱えたままの引き継ぎ～2年数ヶ月が過ぎ、身証、バッチ等沢山の引き継物品の重圧に気がひき締まる一方、正直、押しつぶされそうになりました。

当初高齢者の方々を訪問する際、緊張と不安で強張る時も有りましたが、そこは人生の大先輩方、私の気持を察してか、気さくに優しい言葉で接していただけるようになりました。ふれあい広場やその他の場所でも声かけて頂き、スムーズな活動に繋がり、少しでも身近な話し相手として寄り添えたのではないかと有難く思っております。

民生児童委員の研修や講演会、特に地域のふれあい広場や交流会等での多くの方々とのふれあいは、私の人生の貴重な財産となりました。

結びに自分の力不足をお詫びし、地区の方々民生児童委員の皆様、心より感謝申し上げます。どうぞ笑顔で穏やかに過ごして下さいませ。ありがとうございます

大内山田、後正寺担当地区部長兼事務局長 土田正博

明けましておめでとうございます。

この度、昨年12月の改選で民生児童委員の委嘱を受け、その上、地区部長の大役をおおせつかり、その重責に無知、無才の身にて身の引き締まる思いです。この任務を、受けたからには何もわからないものですが、精一杯、身を粉にして頑張りたいと努力いたしますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

私の思いは、中3の頃から家庭環境上、民生福祉のお世話になり大変助けられました。

今でも思い出すと感謝とありがたさで、こうして書いているときも、涙があふれてほほをつたいます。その節は有難うございました。当時お世話になった自治会長さんも2年前に他界されましたが、私に「頑張って皆さんに喜んでもらえるように努めろ」と天の声が聞こえます。

さて、昨今の生活環境は変化し少子高齢化が進み、認知症も年々増加し、心身とも世の流れに対応しかねて、民生児童委員の果たす役割も重責で苦慮することが推測されます。

一人の力、一人の行動は無力に等しいからこそ、ぜひとも皆さんのお力添えを頂きながら、互助活動を広げましょう。私も精一杯頑張りますので、ご指導ご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に令和の年が実り多くご多幸で良き年になります様、心からお祈り申し上げます。

笹場、口田野、田野山田担当 北山俊男

新年明けましておめでとうございます。

この度、民生児童委員に就任させていただくことになりました。

近年急速な人口の減少、少子高齢化が進行する中で、個人の価値観や生活様式も多様となり、地域住民の皆さまがかかえる課題も複雑になってきております。このような状況の中で、地域のだれもが、心豊かに安心して暮らせる地域づくりを進めていくことが大切になっていくと思います。地域住民の、一番身近な相談役として、微力ではありますが頑張っていこうと思います。お気軽に声をかけていただき、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

主任児童委員 中六担当 芦田隆幸

新年明けましておめでとうございます。

中六人部地区の皆さま、ご家族お揃いで新春をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます

昨年12月の一斉改選にて、中六人部の主任児童委員の委嘱を受けました。このような重責の任務に日々戸惑いながら身の引き締まる思いです。

この大役を務める力量も乏しく、また経験も少ない身の上ですが、一生懸命で務める所存です。皆様のご支援とご指導を賜りますよう宜しくお願いします。

近年の中六においても、過疎化、空き家、高齢化、少子化、とりわけ一人暮らしは令和2年1月現在「38名」と年々悪化しております。それを踏まえて、各組織、民連等々連携しつつ民生、児童委員を活用すべき皆様のお力添えをお願い申し上げます。

今年が、皆様にとってご多幸とご健勝で暮らせることを、心より祈願しております。

明けましておめでとうございます。

昨年12月1日、ハピネス福知山にて民生・児童委員委嘱状伝達式が開催され、下地・中地地域の民生・児童委員を委嘱されました。

委嘱後、前任者に親切丁寧な引継ぎを受け、六人部民児協の例会や研修会に参加しましたが、具体的な活動となるとまだまだ何をして良いのか？手探り状態です。

「何かお困り事等があれば気軽に声をかけて下さい。」と言っても、即お力になれるは思いませんが、お話を聞き少しでも手助けができたらと思っています。

又、中六人部地区福祉推進協議会の一員として「福祉ふれあいひろば」等の行事に係ります。特に「福祉ふれあいひろば」ではボランティア皆様のお力が無ければ開催すら出来ないと思います。これまで以上にご協力をお願いします。

これから3年間いろんな所や場面で皆様のお力をお借りしながら民生・児童委員としての活動をしていきたいと思しますので、どうかよろしくをお願いします。

宮地区担当 谷垣弘明

明けましておめでとうございます。

昨年の暮れ12月1日なんとなくあわただしい時に、厚生省と京都府からの委嘱を受け民生児童委員に就任しました。谷垣弘明です。私は高校卒業まで野間仁田の実家から通学し、高校を卒業と同時に京都の大学に進学しました。その後は大阪に就職し会社の都合により転職、父親が交通事故に会ったのを契機に帰省しました。当時は長田野工業団地が出来たところで就職は何とかと思いきや全然なく、綾部の会社にひろってもらいました。それから6年後大阪に販売会社を設立することになり、大阪勤務となりました。約35年単身赴任をして3年前に退職し帰ってきました、

妻と子供両親を置いての単身赴任を余儀なくされ、村の皆さんにはご迷惑をかけてきました。前任の自治会長さんから民生児童委員の打診を受けたとき村のお役に立てるならとお受けしましたが、その後この役の難しさを知り、できるかどうか不安を感じております。

「遠くの親戚より近くの隣人」という言葉があります。

隣人愛をはぐくみ楽しい田舎生活を期待して職務を全うしたいと思しますので皆様のご協力をよろしくをお願いします。



六人部地域包括支援センター
総合相談窓口ご利用のご案内

六人部地域包括支援センター

六人部地域包括支援センターは昨年 4 月に開設しました。六人部地区の高齢者の方々の総合相談窓口として、様々な相談ごとや困りごとについて一緒に悩み、考え、解決に向けて取り組んでいます。昨年度までは六人部、三和地域包括センターとして、三和町に事務所があった為、六人部地区の皆さまからは『近くになって相談しやすくなった。』などという嬉しいお言葉を頂いています。しかしながら、地域の皆様にはまだまだ知られていない現状があり、今後困っておられる方々のお力になれるように日々努力してまいりたいと思います。

六人部地区は、地域力が強く、お互いに支え合って生活されていることを日々実感しております。高齢者やその家族、地域の方々が住み慣れた地域で安心して生活する為には何が必要か、皆さまと一緒に考えていけたらと思います。

至らぬところもあるかもしれませんが、何かお困りの際は、六人部地域包括支援センターにご相談ください。今後ともよろしく申し上げます。

連絡先 六人部地域包括支援センター 0773-45-3905

【六人部コミセン本館入口右手横に六人部地域包括支援センター出入口】

編集後記

新任の編集委員の手により「中六福祉だより」を発行する運びとなりました。前任者の思いを各種事業につないでまいりたく存じます。ご協力を宜しく申し上げます。後になりましたがご寄稿等ご無理を御願いしてまいりました皆様に厚くお礼申し上げます。

発行責任者：大槻良博

編集責任者：土田正博

編 集：民生児童委員

印刷所：〒620-0035 福知山市字内記7 2 番地の1

(株)報国堂

TEL：0773-22-2883